

腎機能の経過をみよう (GFRのグラフ)



特定健診結果から尿検査とeGFRを表に書き入れてみましょう

私の腎指標	検査年月日									
	年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	eGFR (ml/min/1.73m ²)									
	クレアチニン									
	尿蛋白									
	尿潜血									
検査機関										
慢性腎臓病の病期 (ステージ) 分類	1	腎障害(+)GFRは正常または亢進								
	2	腎障害(+) GFR 軽度低下								
	3	GFR 中等度低下 ※GFRが50未満で、一度腎臓専門医へ								
	4	GFR 高度低下								
	5	腎不全								

慢性腎臓病 (CKD)の定義 <1または2のどちらかが3カ月以上持続すること>

- 1. 腎障害を示唆する所見の存在**
- ①検尿 (蛋白尿・血尿) 異常 (特に蛋白尿が重要)
 - ②画像 (腎超音波検査・腹部CTなど) 異常
 - ③血液異常
 - ④病理所見(腎生検など)

2. 腎機能 (GFR)が60 ml/min/1.73m²未満

腎臓専門医への紹介基準	①高度の蛋白尿 (尿蛋白/Cr比0.50g/gCr以上、または2+以上) ②蛋白尿と血尿がともに陽性 (1+) ③GFR50ml/分/1.73m ² 未満 (40歳未満の若年ではGFR60ml/分/1.73m ² 未満、腎機能の安定した70歳以上ではGFR40ml/分/1.73m ² 未満)
-------------	--

<CKD診療ガイド (日本腎臓学会編) より>